

2. 重点事項と主要施策の取組

(1) 防災・減災、国土強靭化

① 自然災害に対する北海道の脆弱性を克服

気候変動などにより激甚化する自然災害から人命を守るために、「防災・減災国土強靭化のための5カ年加速化対策」を重点的・集中的に進めるとともに、ハード・ソフトを総動員し、流域全体で取り組む「流域治水」への転換を図り、河川堤防や遊水地等の整備、砂防関係施設、海岸保全施設等の整備を行います。

また、高規格道路のミッシングリンク解消など災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保や災害に強い安全な道路交通環境整備を推進します。

■ 「流域治水」への転換

- 流域全体で関係者が協働して水害を軽減させる「流域治水」への転換を進めるため、流域治水協議会を設置し、流域治水プロジェクトを推進します。

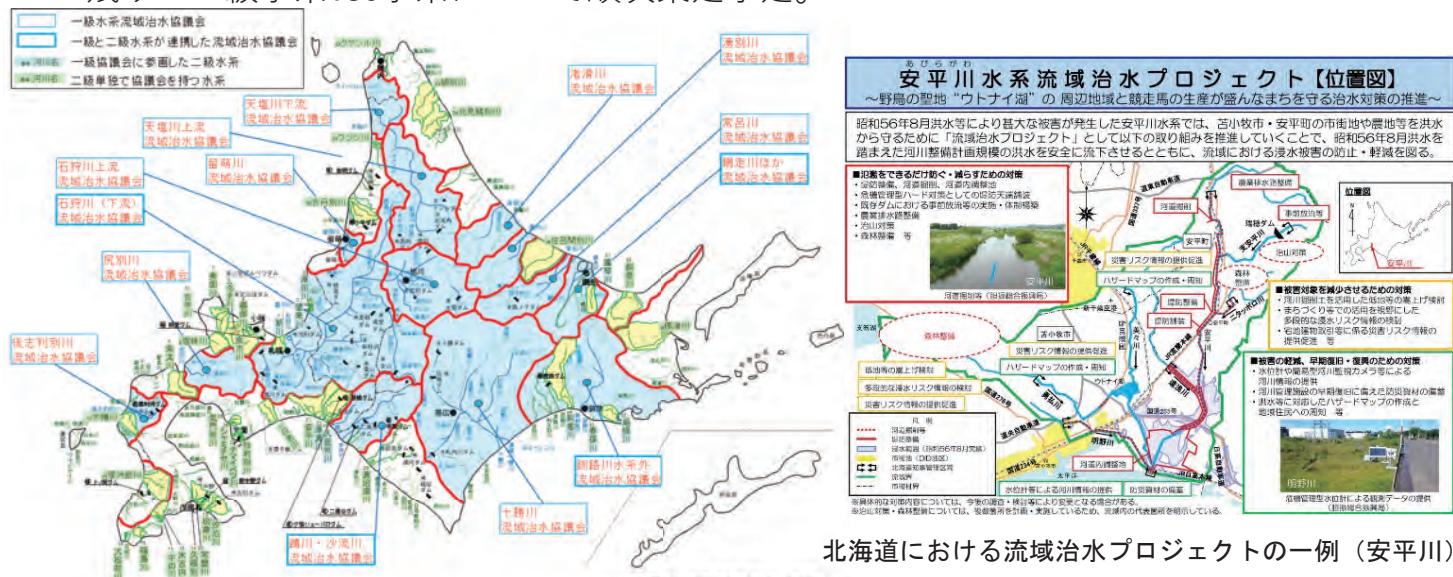


流域のあらゆる関係者が協働して行う対策

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - 河川堤防や遊水地等の整備
 - 治水ダムの建設・再生
 - 砂防関係施設の整備
 - 海岸保全施設の整備
 - 利水ダムの事前放流
 - 利水ダムの事前放流等の判断に資する雨量予測の高度化など
- 被害対象を減少させるための対策**
 - リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導など
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ハザードマップやマイタイムライン等の策定など

流域治水のイメージ

- 北海道では、河川整備計画に基づき河川整備を進めている二級水系41水系において、プロジェクトを策定済み。（令和4年3月31日時点）
- 残りの二級水系186水系について順次策定予定。



北海道における流域治水プロジェクトの一例（安平川）

流域治水の取組状況（二級河川）（R4. 3）

■総合的な治水・利水対策の推進

- 令和元年東日本台風など近年国内で発生した水害の状況や、今後想定される気候変動の影響などを踏まえ、中小河川を重点的に整備します。



ペーパン川（旭川市）

利根別川（岩見沢市）

- 近年の豪雨で大きな被害を受けた中小河川を重点的に整備します。



望月寒川（札幌市）～河川トンネルの建設～

クサンル川（稚内市）～国道橋、JR橋の架替～

- 洪水から地域を守るため、重要度の高い河川において重点的な災害防止施設の整備を行います。



別保川（釧路町ほか）

日本最大の湿原「釧路湿原」周辺地域の安全を確保

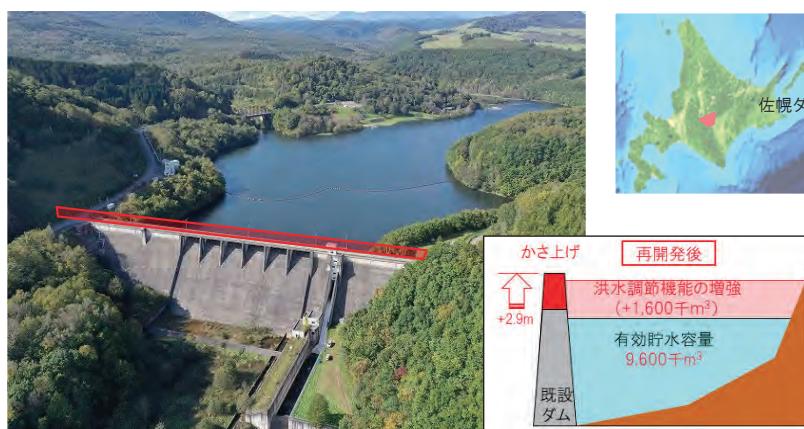


帯広川（帯広市）ウツベツ川地区

ドラマ「なつぞら」効果で観光客が増加している十勝の安全を確保

■洪水と水不足から地域を守るダム建設

- 近年の水害を踏まえ、ダムの再生事業やダム建設事業を重点的に推進します。



佐幌ダム（新得町）

～既設佐幌ダムの再開発（堤体のかさ上げ）～



平成28年8月台風の被害状況
JR橋の崩落（第1佐幌川橋梁）